

ロータリーの会

環境・教育・地域交流・国際



ロータリーの会は高田馬場駅前ロータリーのゴミ放置問題の解決を目的に、日々様々な企画を考案・実行しています。高田馬場駅前ロータリーは早大生にとって身近で、長年に渡って愛されてきた場所です。しかし、そのロータリーをまるで自分たちだけのものかのように利用し、ゴミを残してしまう「伝統」が続いてしまっています。もちろん、そうした人は早大生の一部であり、ロータリーを汚しているのも早大生だけではありません。その分、壁は大きく、一朝一夕で解決しない問題であることは事実です。

しかし、だからと言ってこの問題から目を背けて良い理由にはなり得ません。例えどれほどの月日がかかろうとも、高田馬場という街に直接関わる私たち早大生一人ひとりが関心を持ち、真摯に対峙し続けるべき問題であると当会は考えています。一人の早大生として、ぜひあなたの力を貸してください。

◆活動計画

随時

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと -「拾う人」の存在で成り立ってしまっている街-

高田馬場駅前ロータリーには多種多様な人が集まる。出勤前に一服する社会人、待ち合わせ場所として利用する若者、路上パフォーマンスをする者や路上生活者もいる。夜に近づくにつれ、学生を中心に賑わう光景は見慣れたものだ。そして、日付が変わる頃には目を覆いたくなるほどの、無数の散乱ゴミで荒れ果ててしまっている。しかし、スーツを着たサラリーマンたちが午前9時前、喫煙所に集まる頃には、ほとんどゴミが残されていない。一体誰が、いつ綺麗にしているのだろうか。あれほどの量のゴミを何人で、どれくらいの時間をかけて片付けているのか。清掃しているのは地域のボランティアの方なのだろうか。様々な思考を巡らしながら始発の電車に乗り、この目で確かめに行った。

午前8時過ぎ、大きなゴミ箱を載せた台車を運びながら清掃している2人の姿が見えた。拾っていたのは、「関係ない」はずの年配者だった。

問い合わせ先	rotary.waseda1920@gmail.com
メンバー数	35人
参加費用	なし
活動時期・頻度	毎週月曜日～金曜日、随時

